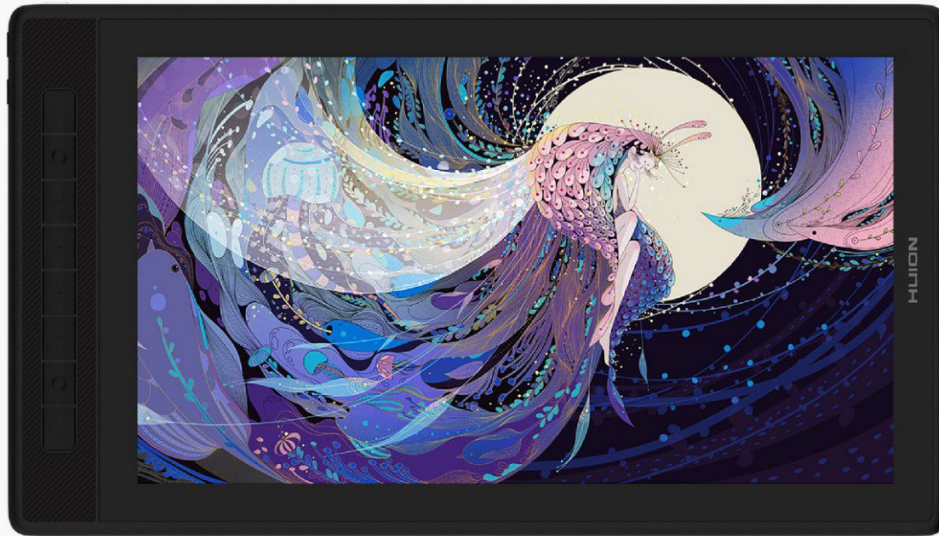


Contents

製品について	2
前書き	2
付属品	2
接続する	4
ドライバ	6
ドライバをインストールする	6
ドライバの見方	9
ペンディスプレイの設定	11
デジタルペンの設定	19
ドライバの設定	23
ペンを使ったOSD設定	26
デジタルペンの使い方	30
製品の仕様	32
トラブルシューティング	34

製品について

前書き



HUIION Kamvas Pro 16 (2.5K) ペンディスプレイをお選びいただきありがとうございます。本機は、プロからアマチュアの方まで効率的なデジタル描画を楽しむことができるペンディスプレイです。ブラシの太さ、濃さ、色を自在に変えながら、紙に書くような描き心地をデジタルペンと共に楽しみください。

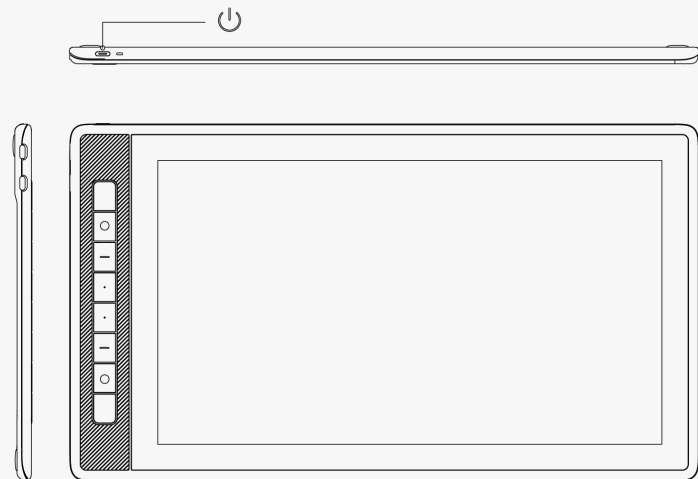
このたびはお買い上げいただき、誠にありがとうございました。ご使用前に本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。本書ではWindowsを搭載したパソコンとの接続を記載しております。特記事項がない限りMacOSを搭載したパソコンも同様の手順で使用してください。

製品の仕様および外観は、改良のため予告なしに変更する場合があります。

注：本書に掲載されている画像はすべて一例です。

付属品

各部のなまえとはたらき



付属品

ペンディスプレイ本体 ×1

デジタルペン ×1

ペンホルダー ×1

標準替え芯 ×5

フェルト替え芯 ×5

替え芯クリップ ×1

折りたたみスタンド ×1

USB電源アダプター ×1

3in2ケーブル× 1

延長ケーブル ×1

USB-C - USB-C専用ケーブル ×1

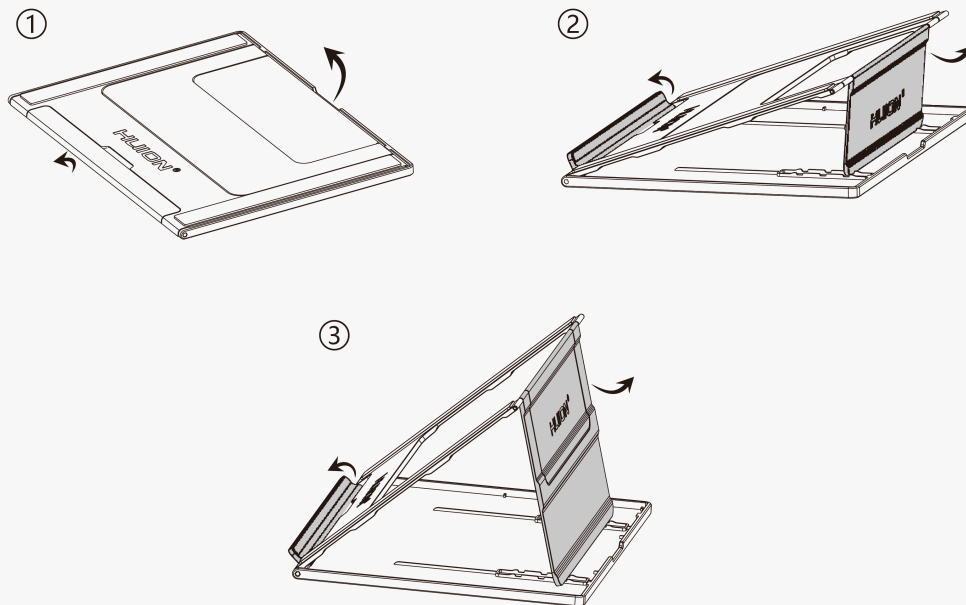
USB電源ケーブル ×1

クイックスタートガイド ×1

クリーニングクロス ×1

スタンドの組み立てかた

調整機能付き折りたたみスタンドは本品専用です。人間工学を取り入れたデザインにより、設置角度をユーザーの好みに合わせて調整できます。



接続する

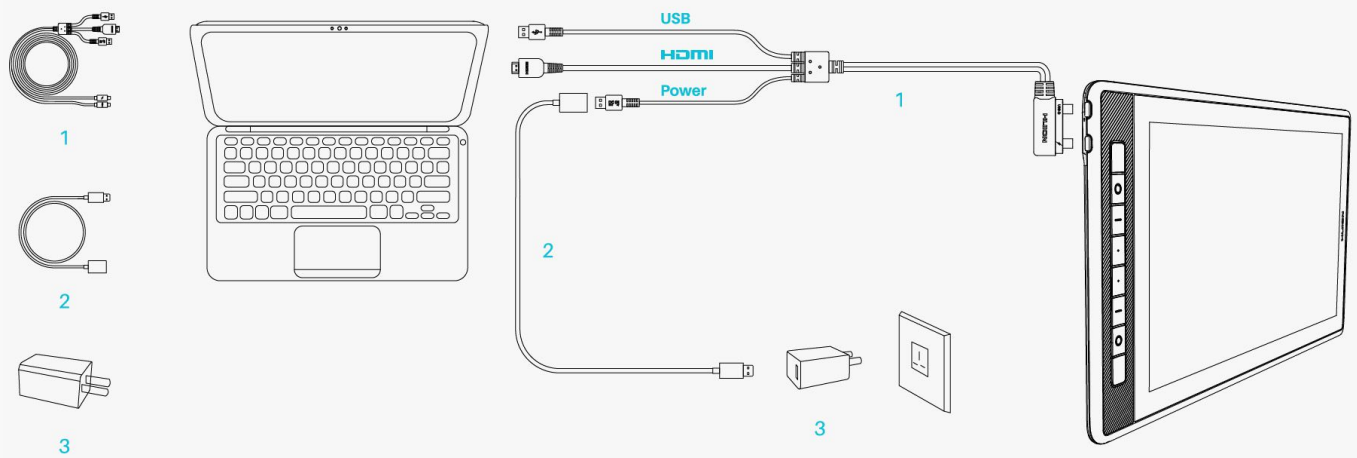
本機はパソコンおよびAndroidデバイスの両方に対応しています。下記の手順を参考にして接続してください。

3in2ケーブルで接続する

3in2ケーブルを使用してパソコンと接続する

1. 3in2ケーブルを取り出し、ペンディスプレイとパソコンに接続します。
2. 電源アダプターに電源ケーブルを接続します。

*電源ケーブルが短い場合は、付属の延長ケーブルをご使用ください。本機では出力5V/3Aの電源アダプターを使用できます。

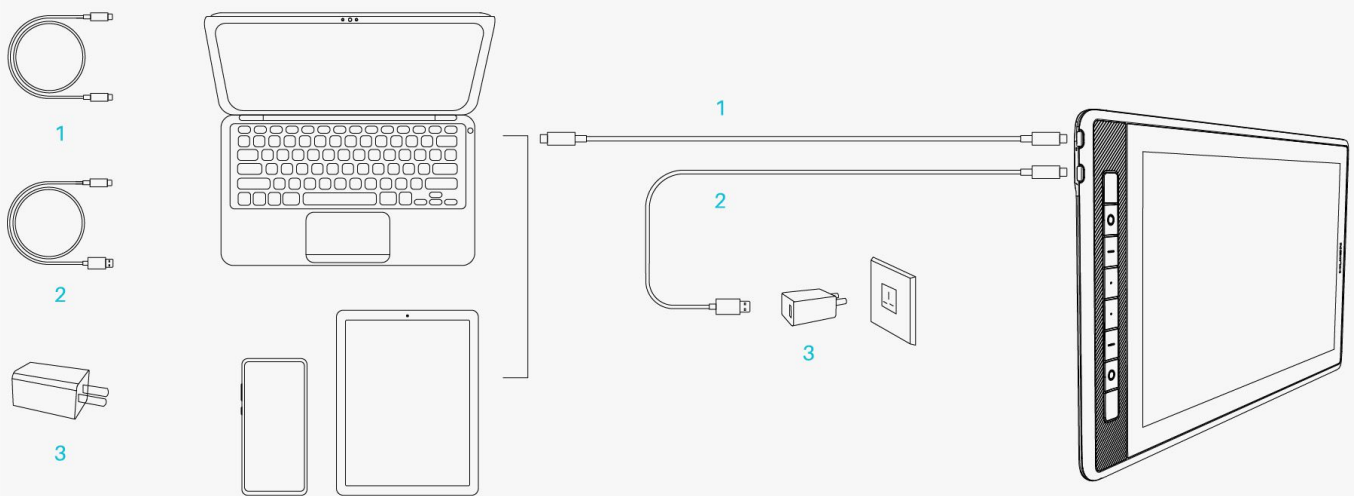


USB-C - USB-C専用ケーブルで接続する

USB-C - USB-C専用ケーブルでパソコンまたはAndroidデバイスと接続する。

1. USB-C - USB-C専用ケーブルを取り出し、ペンディスプレイをパソコンまたはAndroidデバイスに接続します。
2. 電源アダプターに電源ケーブルを接続します。

*USB-C - USB-C専用ケーブルのみの購入も可能です。市販のケーブルを使用する際は、USB3.1 GEN1データ通信及びDP1.2、出力5V/3Aに対応した製品を使用してください。



ドライバ

ドライバをインストールする

1. 公式ウェブサイトのサポートページにアクセスします。お使いのOS用の[Driver-KAMVAS Pro 16 \(2.5K\)](#)を選択します。

2. クリックしてドライバをダウンロードします。

3. 画面の指示に従って、ドライバをインストールしてください。

ご注意：

① ドライバをインストールする前に、すべてのグラフィックソフトウェアとアンチウイルスソフトウェアを終了してください。[「HuionTabletCore.exe」の起動に失敗しました！]はWindowsでのみ表示されます。

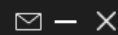
② すでにHuionのDriver15をインストールしている場合、再度インストールする必要はありません。※KAMVAS Pro 16 (2.5K) はDriver15と互換性があります。

③ お使いのデバイスのOSがWindows7以降/macOS10.12以降であることを確認してください。

④ ドライバを起動し、KAMVAS Pro 16 (2.5K) の画像が表示されたら接続完了です。

⑤ 接続に失敗する場合は、ドライバまたはパソコンを再起動してください。

ご注意：ドライバをアンインストールまたは削除すると、デバイスは使用できなくなります。誤って削除した場合は対応するドライバを再度インストールしてください。



[HuionTabletCore.exe] の起動に失敗しました!



未接続

デバイス診断

接続された機器を認識できません



プ



ドライバの見方



1.ペンディスプレイ

ペンディスプレイの設定を行います。ショートカットキーやアクティブエリアを設定できます。

[セクションに進む](#)

2.デジタルペン

ペン機能の設定を行います。ショートカットキーやモード設定、筆圧テスト、筆圧感度を設定できます。

[セクションに進む](#)

3.ストア

Huionの公式サイトにアクセスし製品の最新情報やサポートに関する情報を入手できます。他の製品やアクセサリもこちらからご購入いただけます。

4.プログラムの追加

1. [プログラムの追加]をクリックし、デバイスで開いているプログラムを追加します。その他のプログラムは[参照]をクリックし手動で追加します。

2. プログラムごとに異なる機能を設定できます。

プログラムを切り替えると、ショートカットキーの機能を自動で変更します。

3. [すべてのプログラム]を選択すると、設定がすべてのプログラムで有効にします。プログラムごとに設定を行うには、リストから[プログラムの追加]をクリックします。指定したプログラムを起動すると自動的に設定を変更します。

5. 設定

ドライバーに関する設定を行います。デバイス情報、データのバックアップ、一般設定、ドライバーのバージョン情報を確認できます。

[セクションに進む](#)

6. 困ったときは

[?]をクリックするとサポートページ <https://support.huion.com/ja-JP/support/home> にアクセスできます。ユーザーマニュアルのダウンロードや不具合報告にご活用ください。

7. デバイスを切り替える

ドライバーは最大2つのデバイスを同時に接続できます。デバイスごとに機能を設定でき、選択されているデバイスの機能を使用することができます。

ペンディスプレイの設定

ショートカット

ショートカットタブでは、好みや用途に合わせて物理ボタンの機能をカスタマイズできます。無効にするには左下の[ショートカットキーを有効にする]のチェックを外します。現在の機能を確認するにはキーの上にマウスカーソルを移動します。機能を割り当てるにはポップアップメニューから設定したい機能を選択します。



設定変更が必要かどうかについては、下記の機能一覧を参照してください。

接続するデバイスによって使用できる機能が異なります。

キーボード 入力ボックスに有効なキーの組み合わせを入力して、ショートカットを作成します。

マウス マウスまたはホイールの機能を選択します。左ボタン、右ボタン、中ボタン、左ダブルクリック、ホイール前・後に機能を割り当てることができます。

切り替え 画面の切り替え（拡張モードでは複数のモニター使用時）、ブラシの切り替えを割り当てることができます。

プログ [参照]をクリックして、任意のプログラムのを選択します。設定後はボタンをクリックするとプログラムを起動します。

システムアプリ 画面ロック、スリープ、シャットダウン、デスクトップの表示/非表示、タスクビュー、スタートメニュー、電卓機能を割り当てることができます。

マルチ 前の曲、次の曲、再生/一時停止、音量を

メディア 上げる、音量を下げる、ミュートなどの
機能機能をキーに割り当てることができます

プレシジョン 精度を通常モードとプレシジョン（精密移動）モードに切り替えることができます。

モード ・スライダーを動かして精度を調整します。

例：ペンボタンにプレシジョンモードを割り当てた場合、ペンボタンを押すと事前に設定した精度に切り替わります。通常モードに戻すにはもう一度ペンのボタンを押します。“Esc”を押すと精密移動モードを終了します。

移動/スクロール ペン先を上下または左右に動かすことで、ドキュメントやアイテムを移動できる機能です。

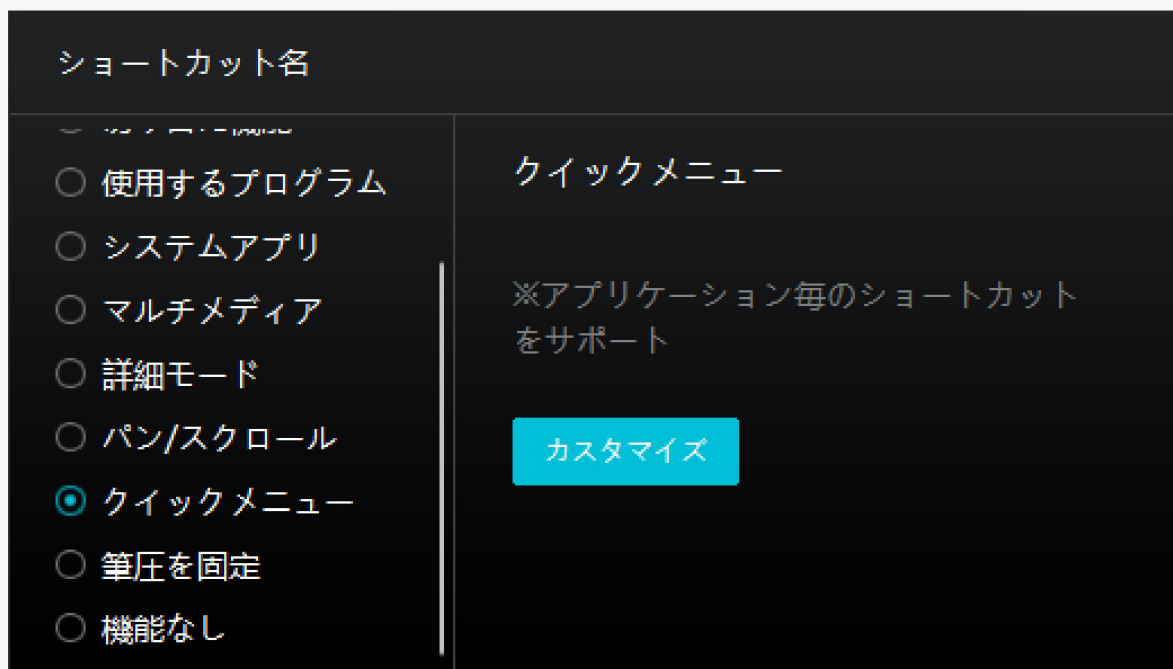
移動/スクロールを選択すると、速度ウィンドウが表示されます。
スライダーを動かして速度を調整します。

クイックショートカットメニューのキーを設定できます。機能一覧は下図を参照してください。

筆圧感度 任意の筆圧感度で固定する機能です。一度固定すると、任意のサイズでボタンを押しつづけると、ボタンを離すまでブラシサイズを固定したまま描画できます。

機能なし ボタンを無効にする際は、[機能なし]を選択します。

注：写真は一例です。



[カスタマイズ]をクリックしクイックメニュー画面を開きます(図1)。

割り当てる：ボタンを選び、任意の機能を割り当てます。設定完了後はキーを押して設定した機能を呼び出します(図2)。

修正する：いずれかのボタンをクリックしメニューを非表示にします。「固定」をクリックし、「修正」に切り替わったらドラッグして機能を修正します。修正したら「閉じる」を押して終了します(図3)。

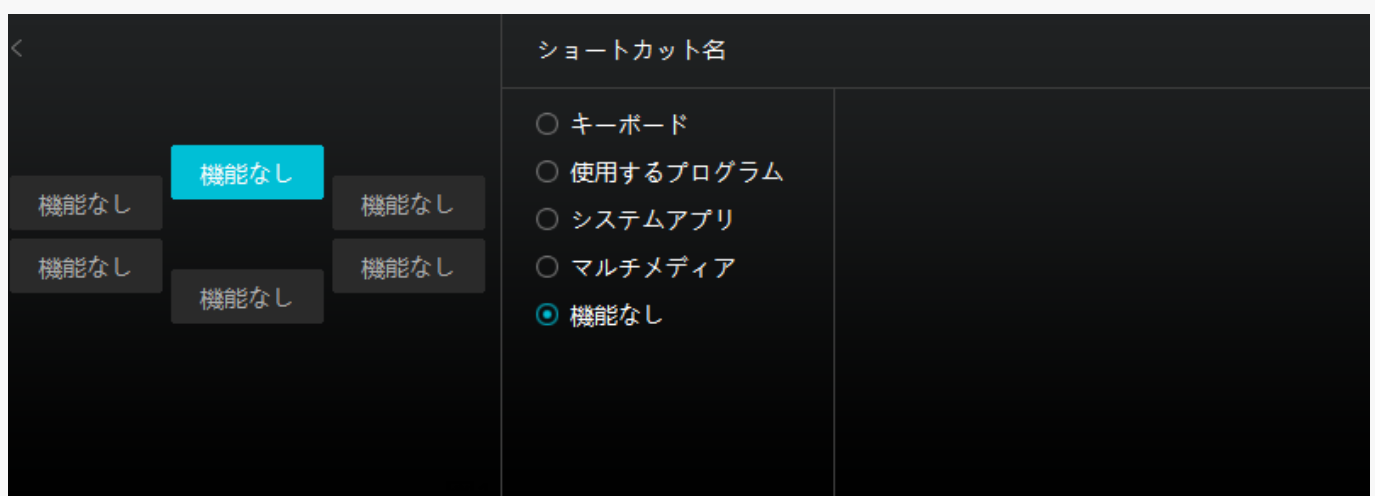




図 2



図 3

アクティブエリア

[作業領域]タブではペンとモニターの移動範囲を設定できます。初期設定では画面全体がアクティブエリアとして設定されています。

拡張モードで複数のモニターを使用する場合は、対応するモニターとアクティブエリアをドライバで設定します。

複製モード（全てのディスプレイで同じコンテンツを表示）では、アクティブエリアとカーソルは全てのディスプレイで同じ表示となります。

1. アクティブエリア設定

画面の任意の部分をアクティブエリアとして設定できます。

[1] 全画面：画面全体をアクティブエリアとして設定します。初期設定は [全画面] です。

[2] 等倍：このモードでは、デバイスのアクティブエリア比率とディスプレイ表示比率が同じになります。

例：等倍モードで円を描くと、ディスプレイにも同じ比率の円を描画します。この場合、ディスプレイの一部にペンを使用できない領域が残る場合があります。比率を変更しない場合、楕円を描画する場合があります。

アクティブエリアの比率は、ディスプレイの比率に依存します。本機では16 : 9を基本としています。

[3] カスタム：画面の任意の部分をアクティブエリアとして設定できます。

方法1. 座標を入力します。

方法2. 図1のようにアクティブエリアのラインを動かして調整します。カスタムモードではユーザーが指定したアクティブエリアでのみペンを使用することができます（図2、図3を参照）。



図 1

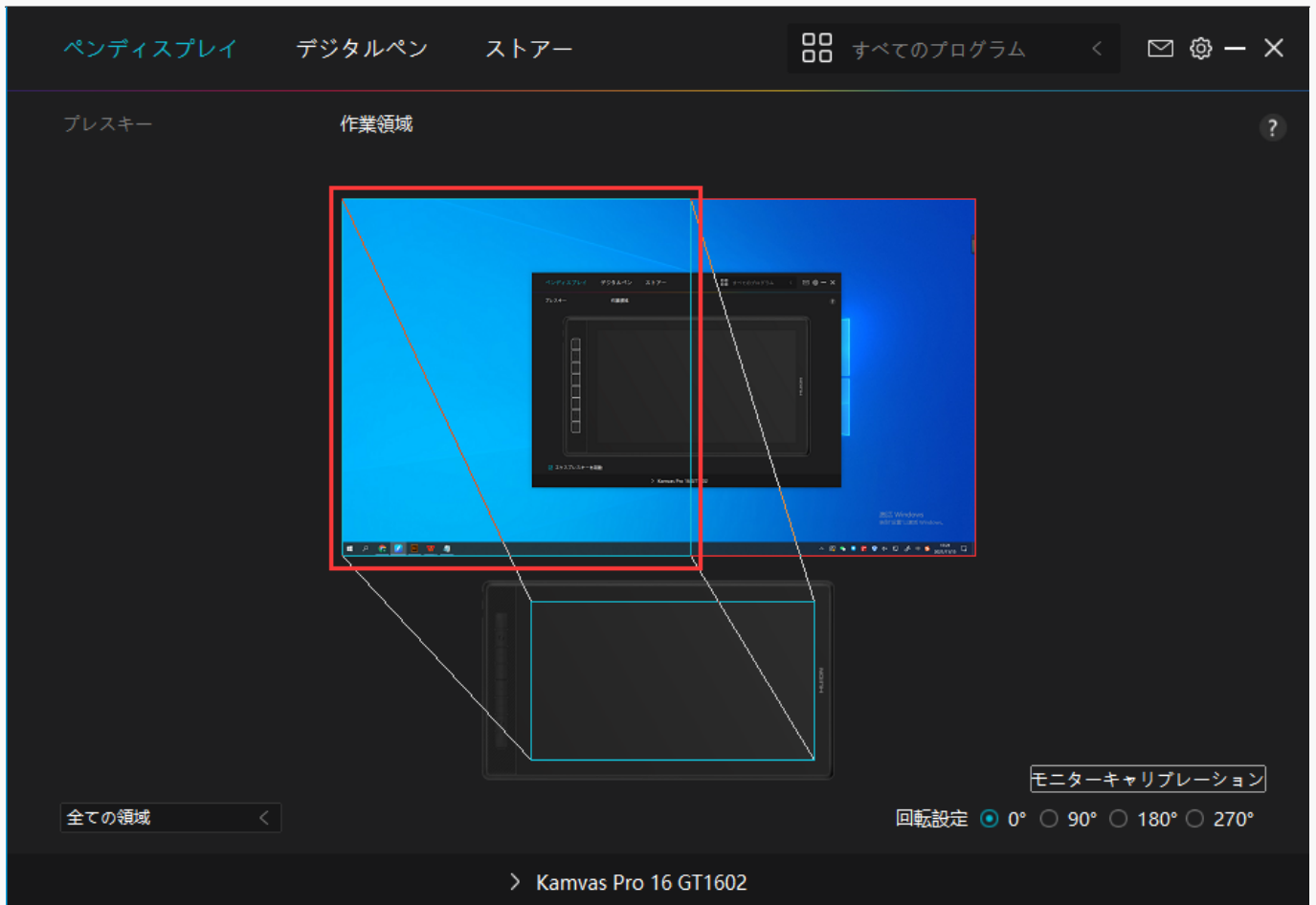


図 2

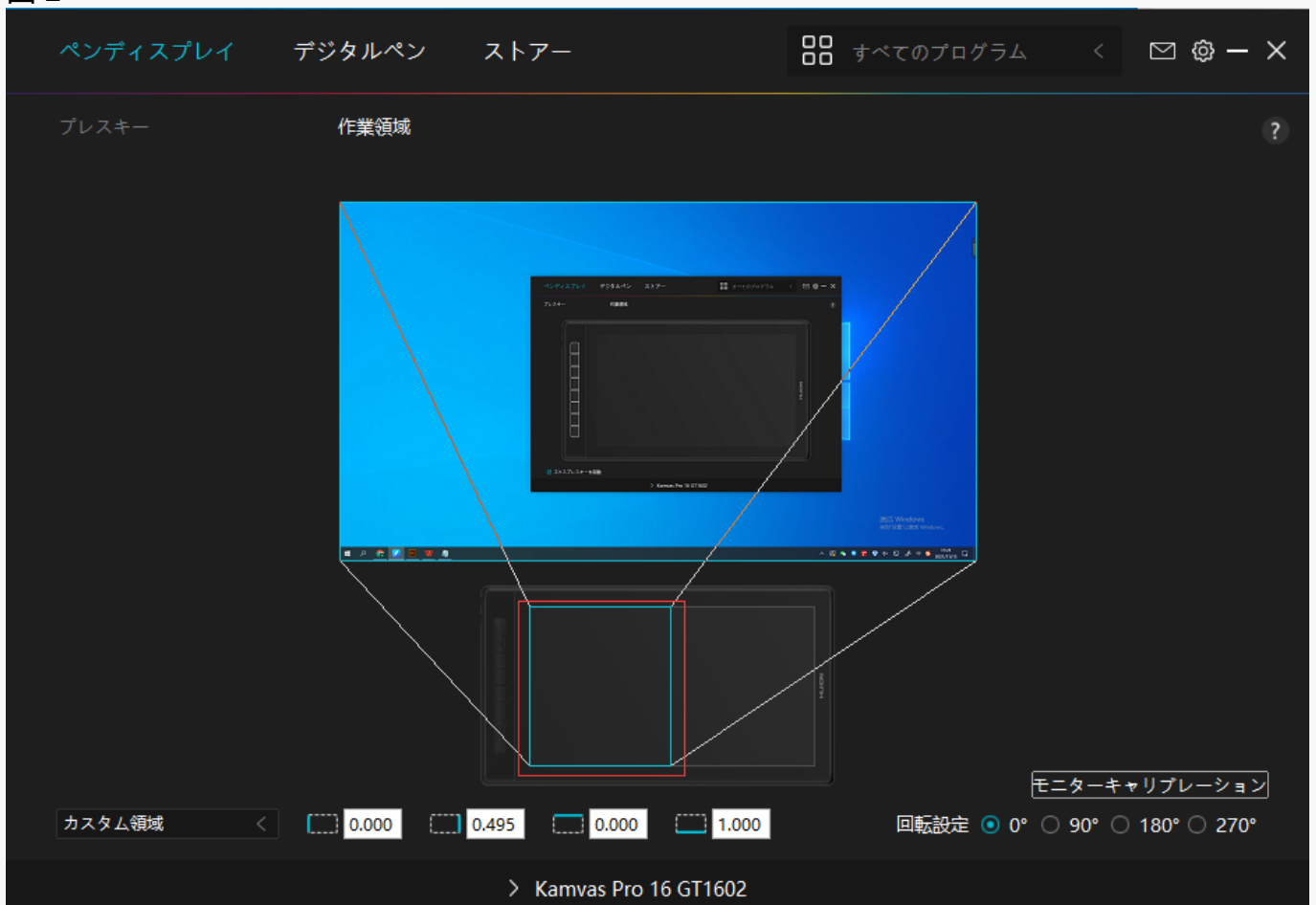
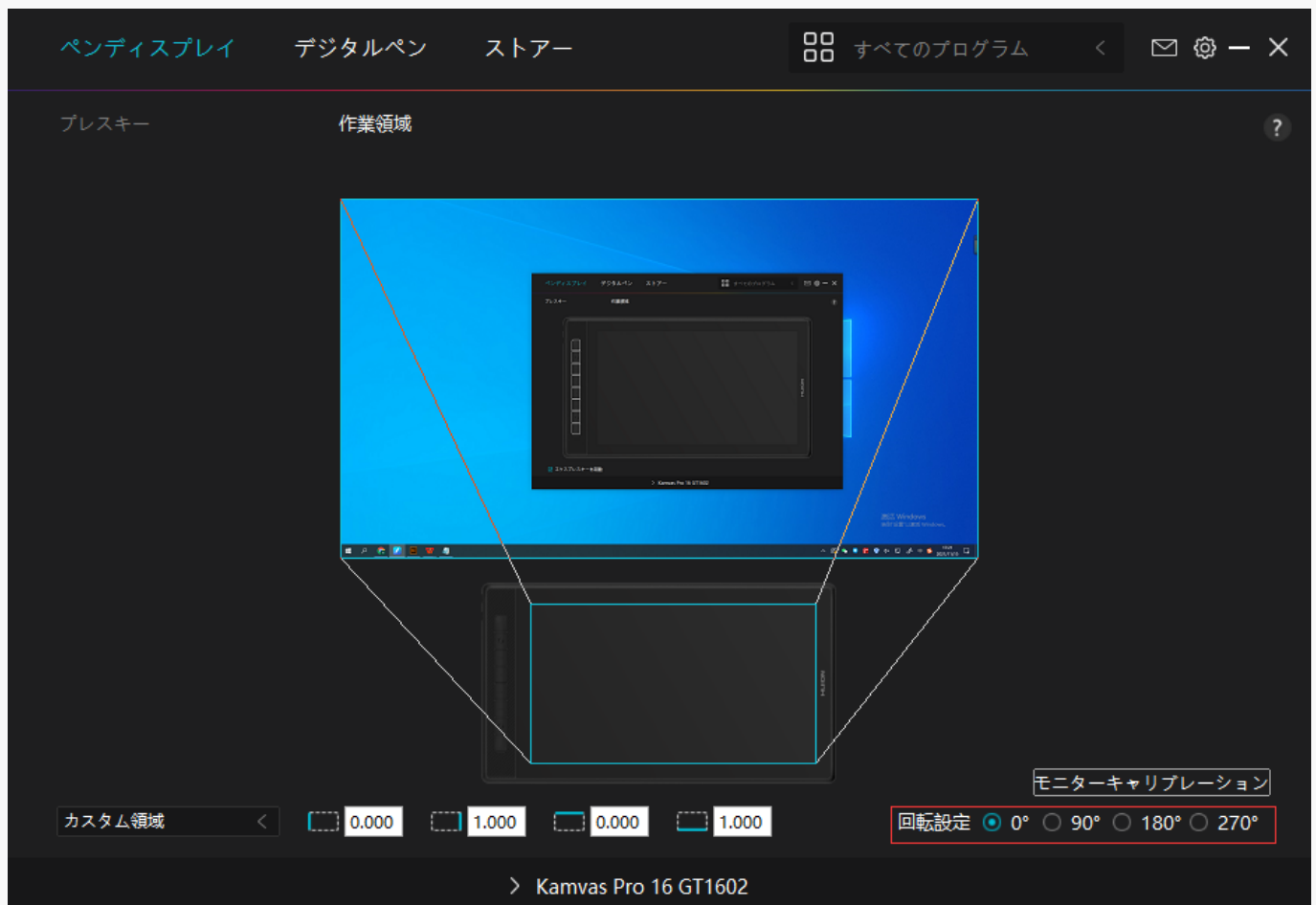


図 3

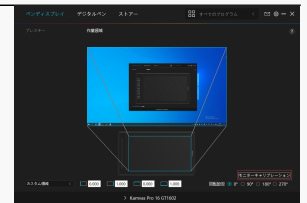
2. アクティブエリアの回転

本機は0°、90°、180°、270°での設置が可能です。利き手に合わせて向きを調整してください。



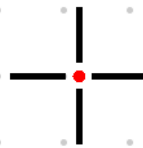
3. キャリブレーション

[キャリブレーション]をクリックし、指示に従って表示位置を調整します。



普段どおりデジタルペンを持ち、十字中心の赤い点をペン先で押し設定してください。

初期設定に戻すには [キャリブレーションをキャンセル]、 [デフォルトの復元] を選択します。



ヒント: 普段のペンの持ち方でデジタルペンを持ち、十字マークの中央にある赤い点をクリックします

キャリブレーションのキャンセル

再計算

デフォルトに戻す

デジタルペンの設定

1. ショートカットキー

デジタルペンを使用して、描画、書き込み、ファイルの移動、ショートカット機能の呼び出しを行えます。ペンショートカットキーの設定は、ディスプレイのショートカットキー設定と同様の手順で行います。 [セクションに進む](#)



2. ペン先のアクティブ化

用途に合わせてペン先のアクションを選べる機能です。リストから有効/無効のいずれかを選んで設定してください。無効にするとカーソル移動のみをサポートし、クリックを無効化します。

。



3.Windows Inkの有効化

Microsoft Windowsは、デジタルペンによる手書き入力を独自にサポートしています。Microsoft Office、Windows Whiteboard、Adobe Photoshop CC、SketchBook 6などで手書き入力を使用するには、ドライバーで「Windows Inkを有効にする」にチェックを入れます。



4. 筆圧感度の調整

筆圧感度を設定する機能です。筆圧感度ボックス内のスライダーをドラッグしてカーブを調整します。リセットするには右上の「やり直し」をクリックします。5種のプリセットからレベルを選ぶこともできます。

1. クリック音や感触を設定
2. 筆圧感度のカーブを設定
3. 筆圧最大時のレベルを設定

- ・ 筆圧テストボックス内で線を描き、現在の筆圧感度を確認できます。

見づらくなったら上の [消去] をクリックし、適切な感度になるまで調整を行います。

- ・ カーブが急になるほど感度が高くなります。

ペンディスプレイ デジタルペン ストアー

すべてのプログラム

ペンディスプレイ 筆圧感度設定

筆圧感度設定

筆圧感度設定

筆圧

出力

1 2 3

ソフト

ハード

圧力テスト

8191

0

■ [しきい値]をクリックします ■ 感度

> KAMVAS Pro 16 GT1602

ドライバの設定

1. デバイス

接続されている製品やファームウェアに関する情報をご覧いただけます。



OSD設定

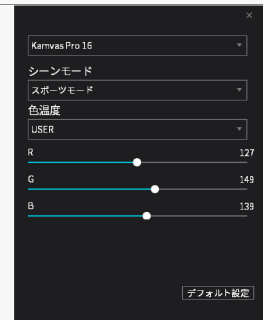
シーンモード：「スタンダード」、「スポーツ」、「ムービー」、「ゲーム」から好みのモードを選択します。

明るさ：スライダーをドラッグし画面の明るさを調整します。

コントラスト：スライダーをドラッグし、画面のコントラストを調整します。

色温度：「6500K」、「7500K」、「9300K」、「USER」モードから選択します。
USER"モードでは、RGBの値を調整することで色温度を細かく変更することができます。

より詳しい説明は[ペンを使ったOSD設定](#)をご覧ください。



2.バックアップ

設定情報をインポート/エクスポートします。デバイスの入れ替えや故障時に備え、定期的にバックアップしてください。



3.一般設定

言語：リストから使用する言語を選択します。

色：ドライバインターフェースの配色を変更します。

スタートアップ：[自動開始]、[新しいメッセージ] [自動更新] [バッテリー残量警告]をの有効/無効を設定します。

ホットキー：ドライバーをすばやく呼び出せるようホットキーを設定できます。

ゲームモード自動有効化

4.その他

ドライバのバージョンを確認できます。「アップデートの確認」をクリックすると最新バージョンを確認できます。

新しいドライバがある場合は指示に従ってアップデートを行います。



ペンを使ったOSD設定

本機ではペンによるOSD設定設定に対応しています。

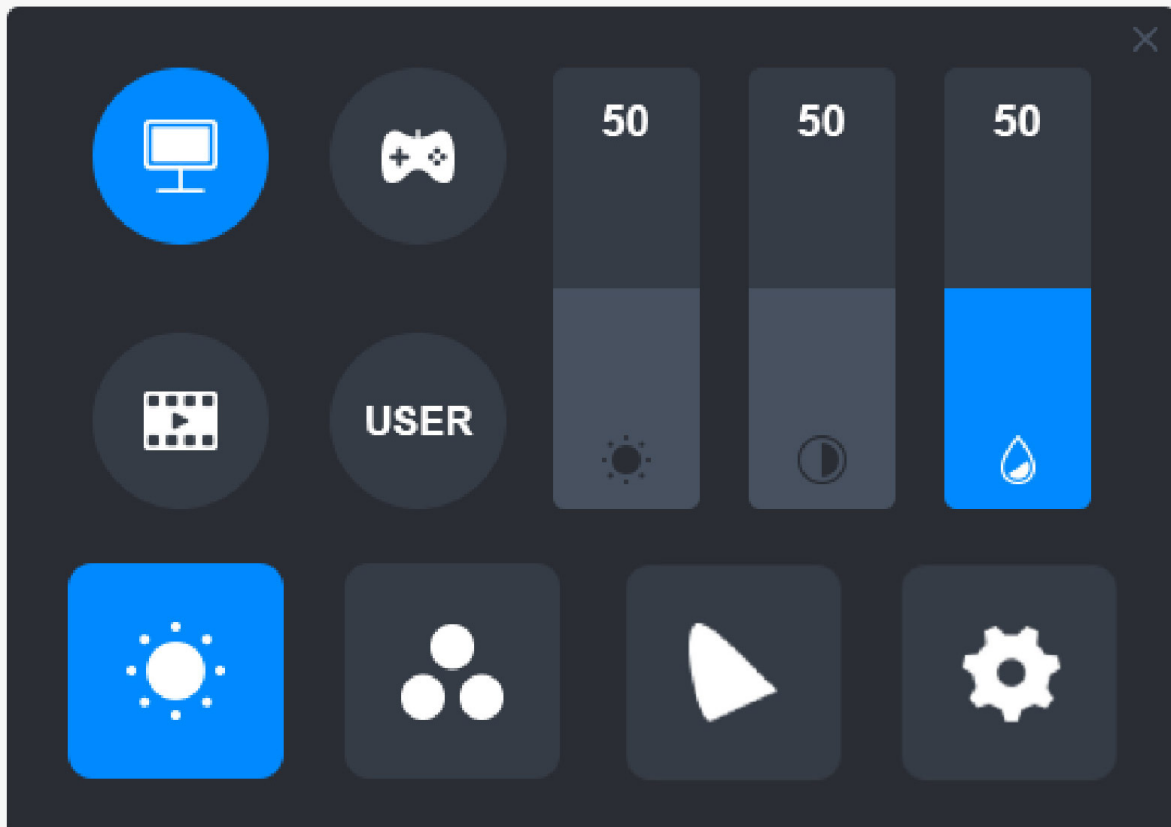
電源ボタンを長押ししてOSDメニューを呼び出します。

デジタルペンで各項目を調整します。明るさ、色温度、一般設定、終了の使用頻度の高い項目のみを設定できます。

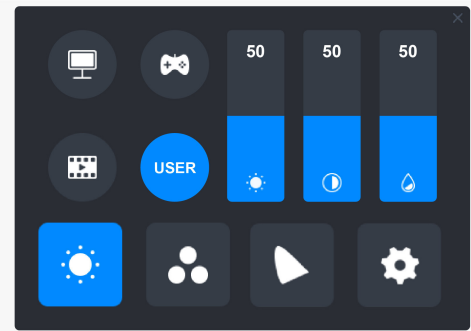
明るさの設定

明るさの調整は太陽アイコンをクリックしてください。インターフェイス左上で次の4つのモードが選択できます：スタンダード・モード、ゲーム・モード、ムービー・モードおよびUSER（ユーザー）モード。右上に：明るさ、対比度と彩度があります。

スタンダード・モード、ゲーム・モードあるいはムービー・モードを選択した場合、右側の棒のみが青で表示され、ユーザーはドラッグして彩度を調整できます。



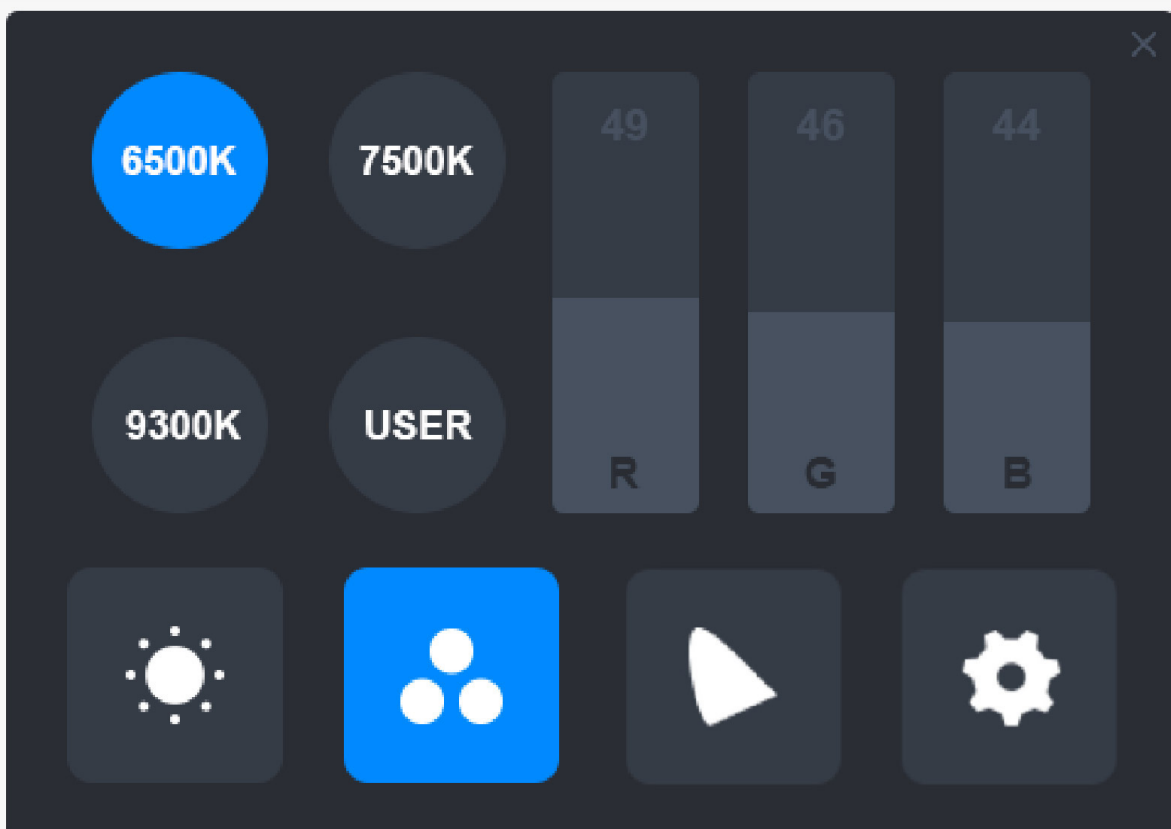
USER（ユーザー）モードを選択している場合、3つの棒すべてに青が表示され、ユーザーはドラッグして、明るさ、対比度および彩度を調整できます。



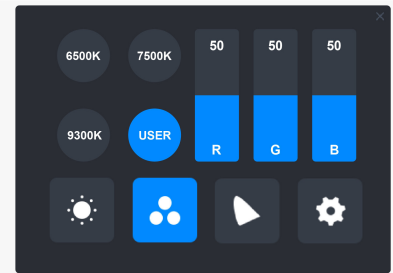
色温度の設定

左上に3つの標準カラー温度（6500K、7500K、9300K）およびカスタム化可能なUSER（ユーザー）モードがあります。右上にRGB色値、R（赤）、G（緑）、B（青）があります。

もし6500K、7500Kあるいは9300Kを選択している場合、3つの棒すべてが黒く表示され、ユーザーはR（赤）、G（緑）あるいはB（青）を調整できません。



USER（ユーザー）モード選択の時、3つの棒すべてが青で表示され、ユーザーはそれぞれドラッグして、R（赤）、G（緑）あるいはB（青）を調整できます。



色域の設定

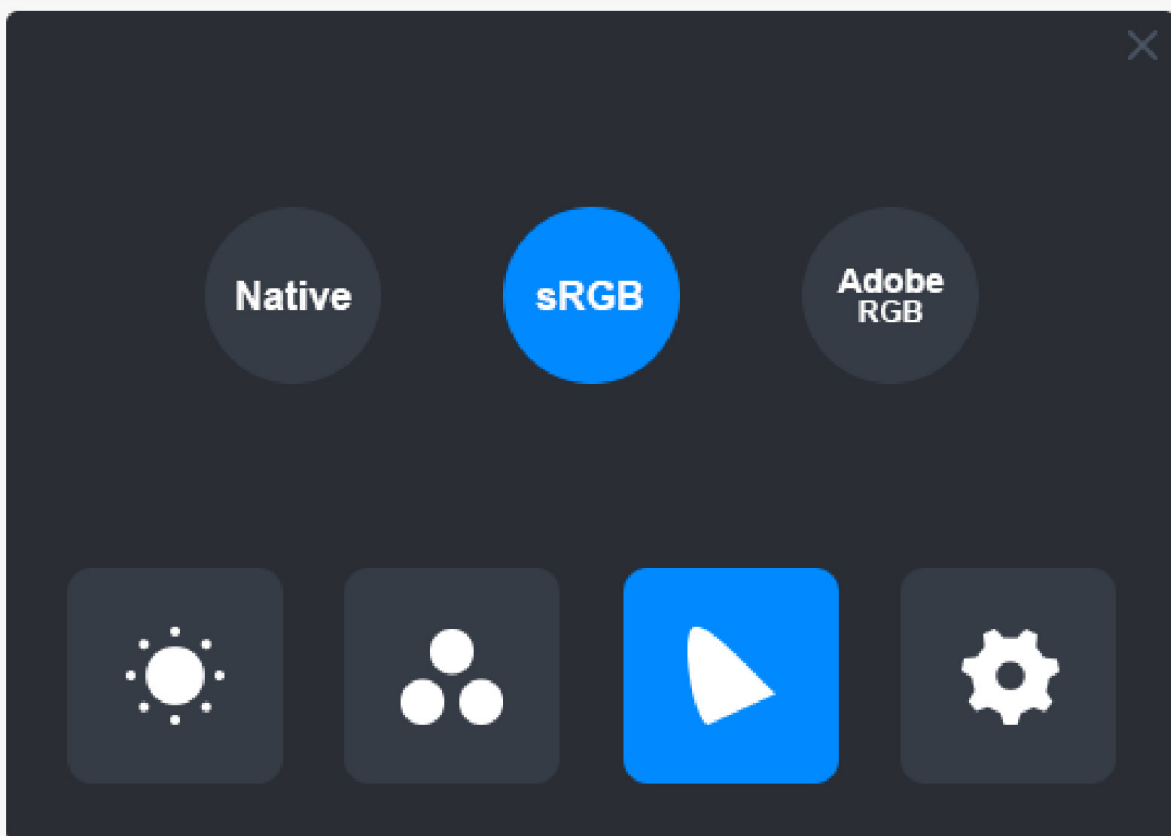
メニューには3つの色空間があります：Native（ネイティブ）、sRGBおよびAdobe RGB。

色域は以下の通りです。

Native（ネイティブ）：145% sRGB

sRGB：99% sRGB

Adobe RGB：99% Adobe RGB



注意：

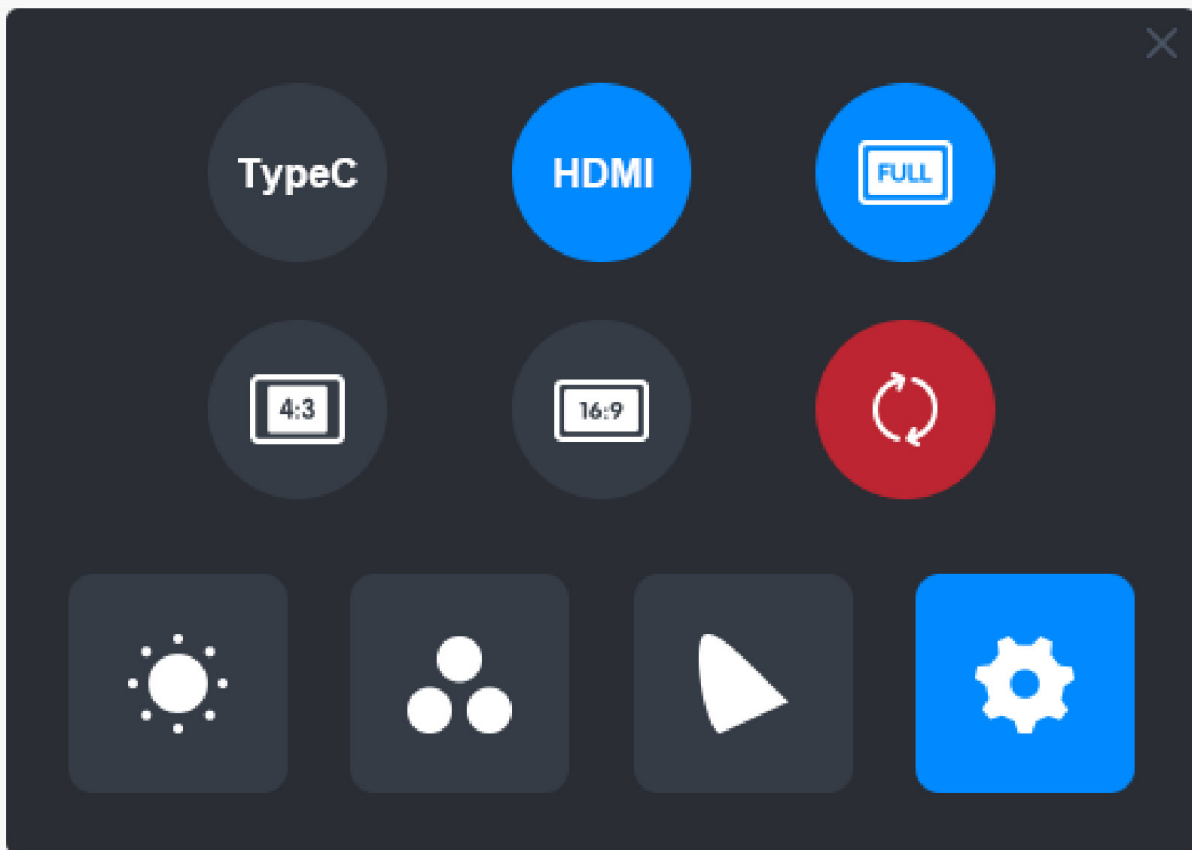
馬蹄型のアイコンをクリックしてお好みの色空間を選択できます。Native（ネイティブ）を選択すると、お好みの明るさと色温度に調整できます。しかし、ペンディスプレイの表示色が標準Adobe RGBおよびsRGBに似ている事をご確認ください。sRGBあるいはAdobe RGBを選択するとUSER（ユーザー）モードの明るさの棒のみがドラッグ可能です。



一般設定

メニューではTypeC、HDMI、Full（フル）、4:3、16:9、Reset（リセット）が選択できます。

- ①TypeC/HDMI：Type-CケーブルあるいはHDMIケーブルで接続
- ②FULL：表示領域をフルスクリーンに切り替え
- ③4:3：表示領域のアスペクト比を4:3に切り替え
- ④16:9：表示領域のアスペクト比を16:9に切り替え
- ⑤Reset：OSDメニューの設定をすべてデフォルトにリセット



デジタルペンの使い方

ペンの持ち方:

ペンを持つときと同じようにデジタルペンを持ちます。親指や人差し指でペンのキーを押せるように向きを調整してください。使用時に誤って触れないようご注意ください。

注：使用しないときは机の上に置き、ペンディスプレイの上に置かないようご注意ください。

マウスなどの機器の誤作動やスリープモードへ移行できなくなるおそれがあります。

カーソルの移動:

ペンディスプレイからわずかに浮かせた状態でペンを移動すると、動きに応じて画面上のカーソル移動します。左クリックするにはデジタルペンで画面に軽くタップします。

クリック:

クリック：ペンで画面を1回タップ。

選択：タップしたままオブジェクトをなぞる。

開く：ペンでダブルタップ

移動:

アイコンやファイルなどのオブジェクトを動かすには、ペン先を当てたまま移動させます。

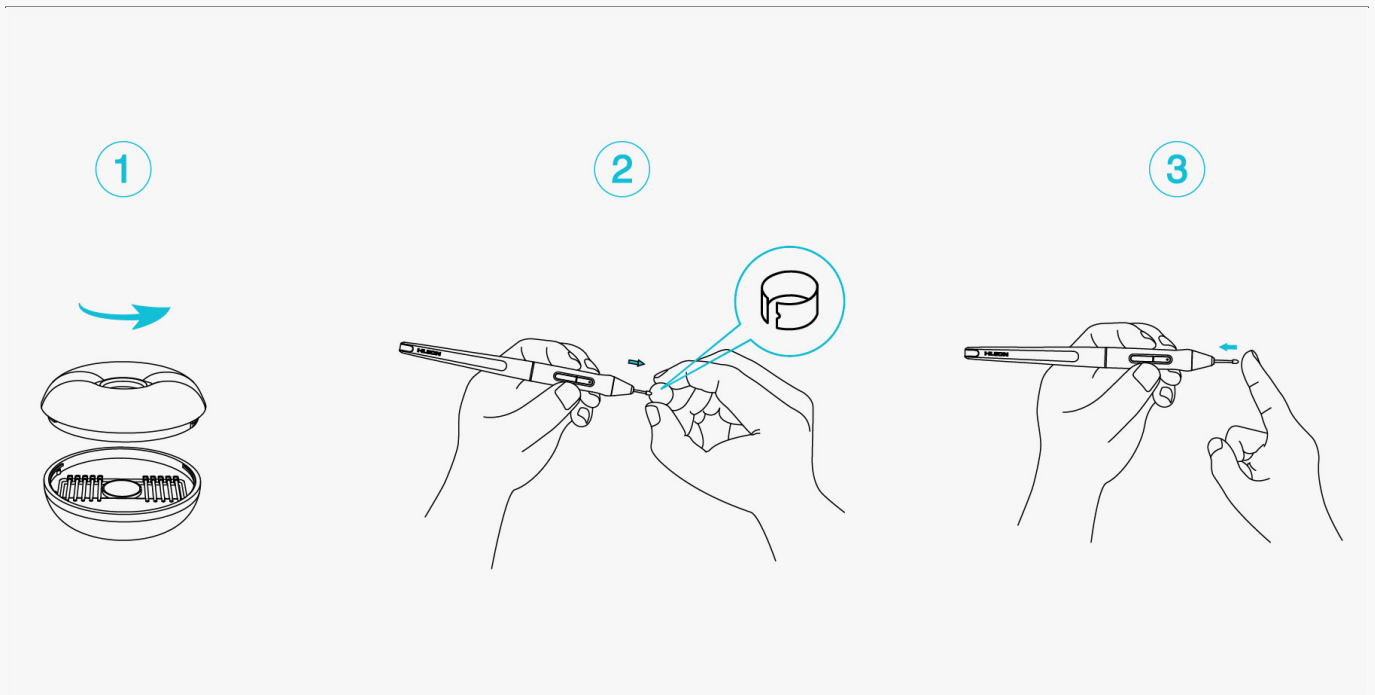
ショートカットキーを活用する:

デジタルペンのショートカットキーは、ドライバーインターフェイスで設定を行います。ショートカットキーを使用時はペン先とディスプレイの間を10mm以内に保持してください。

ペン先を交換する:

ヒント：ペン先が摩耗したら新しいペン先と交換してください。

- 1.ペンホルダーを反時計回りに回転させ、交換用のペン先を取り出します。
- 2.ペン先クリップを通して古いペン先を引き抜きます。
- 3.新しいペン先を奥までしっかりと挿入します。



製品の仕様

製品仕様につきましては下記をご参照ください。ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

仕様情報

カラー：フロストシルバー

寸法：436.2 × 247.3 × 10 ~ 11.5mm

アクティブエリア：349.6 × 196.7mm

重量：1.28Kg

インターフェース：給電用USB-Type-Cポート、通信・電源用USB-Type-Cポート

ディスプレイ

解像度：2560 × 1440 (16 : 9) QHD

パネルタイプ：IPS

表面処理：アンチグレアエッチングガラス

ラミネート方式：フルラミネーション

コントラスト比 : 1200 : 1

明るさ : 220nit (最大)

応答時間 : 14ms

視野角 : 89°/ 89° (H) / 89°/ 89° (V) (Typ.) (CR > 10)

色域 : 145%sRGB

表示色 : 16.7M (8ビット)

製品の仕様

デジタルペン : PW517

誘導方式 : パッシブ電磁誘導

解像度 : 5080 LPI

筆圧感度 : 8192段階

最大読取り高 : 10mm

読み取り速度 : >300PPS

精度 : ±0.3mm

傾き検知 : ±60°

作業環境

電源入力 : AC 100-240V、50/60Hz

電源出力 : 5V/3A

動作時の消費電力 : ≤ 10W

スタンバイ消費電力 : ≤ 0.25W

動作温度・湿度：0～40℃、20～80%

保管温度・湿度：-20℃～60℃、10～90%

対応OS

Windows 7 以降

macOS 10.12 以降

Android (USB3.1 DP1.2以降)
トラブルシューティング

カーソルが動くのに筆圧を検知しない

ドライバインストール時に、他のドライバをインストールまたはグラフィックソフトウェアを起動した可能性があります。すべてのドライバーをアンインストールし、起動中のソフトウェアをすべて閉じてから、ドライバーを再インストールします。インストールが完了したら、コンピュータを再起動してください。

デジタルペンが使えない。

- 1.本機に付属していた純正ペンを使用してください。
- 2.ドライバーが正しくインストールされていることを確認してください。

本体のショートカットキーが使えない

- 1.ショートカット機能が有効になっているか確認してください。
- 2.ショートカットキーが正しく設定されているか確認してください。

パソコンがスリープモードにならない

ペンディスプレイのアクティブエリアにデジタルペンを置いていませんか？

デジタルペンを本機から離して保管してください。

デジタルペンのショートカットキーが使えない

ペン先をディスプレイの表面から10mm以内に保持してください。離れすぎると検知なくなります。

パソコンがペンディスプレイを認識しない

USBポートに異常がないことを確認します。問題がある場合は別のUSBポートを使用してください。

問題が解決しない場合は [[FAQ](#)] をクリックしてトラブルシューティングをご覧ください。または当社カスタマーセンター (service@huion.com) まで電子メールにてお問い合わせください。